

開催日時：平成20年3月28日（金） 15：00～18：00

場 所：大阪赤十字会館4階 401会議室

出席委員：池淵委員長, 中川委員, 久委員, 堀野委員, 増田委員, 山下委員

1. 議 題

- (1) 二級河川王子川水系河川整備計画について
- (2) 一級河川大和川水系石川ブロック流域の概要について
- (3) 一級河川淀川水系猪名川下流ブロック流域の概要について

2. 概 要

○二級河川王子川水系河川整備計画について

(まとめ)

二級河川王子川水系の河川整備計画（原案）について説明した。前回の委員会での指摘事項や縦覧による住民意見を反映したものを説明した。今回の指摘事項を整理反映させ、各委員に報告した上で、河川整備計画の申請手続きに移ることとなった。

(委 員) 水門の遠隔操作化を制御するために必要な通信回路について、人的バックアップ機能等、不通になったケースについて記載したほうがいいのではないのか。

(事務局) 職員が水門に参集し操作するもののバックアップ機能として遠隔操作化があるので、表現について検討し、記載する。

(委 員) 耐震補強が直下型地震、想定被害は津波であることについて、整理して欲しい。

(事務局) 直下型・海溝型地震それぞれに対してチェックをし、悪影響を及ぼす方で対策を行うものです。

(委 員) 対策震度の見直しへの対応についてはどうするのか。

(事務局) 今後、構造物への影響等を焦点に検討していく。

(委 員) 新規事業概要書において、B、C それぞれについて現在価値と単純合計があるので、わかるように整理すること。

(委 員) ハザードマップについて、配布するだけでなく周知の方法について工夫をお願いしたい。

(事務局) 全戸配布に加え、地上波デジタル放送を使った双方向の情報やり取り、避難行動につなげるモデル実験等一部で行っており、今後も検討していく。

(委 員) 今回の指摘事項を修正した上で各委員に報告し、事務手続きを進めることとする。

○一級河川大和川水系石川ブロック流域の概要について

(まとめ)

一級河川大和川水系石川ブロック流域の概要・治水の現状と課題について説明した。委員会での指摘事項を踏まえ、引き続き審議することとなった。

(委員) 整備計画では、現在の計画の踏襲型ではなく、計画規模も含め議論をすることはできるのか。また、今後策定される大和川水系基本方針の内容も踏まえた計画とするのか。

(事務局) 大和川水系基本方針(未策定)も踏まえ計画規模や雨の考え方などご審議いただきたい。

(委員) 治水の課題においては、当面の目標(50mm/h)、将来目標(1/150や1/100)ともに課題を示す必要があるのではないか。

(委員) 過去の出水について、計画論へつなげていくような整理にしてほしい。

(委員) 治水能力が大きく足りないなど、わかりやすく整理して欲しい。

(事務局) 治水能力が足りない箇所について、整備計画期間内でどの箇所を整備するのもも含め議論ができる資料を示していく。

(委員) 暫定計画の位置づけについて説明して欲しい。

(事務局) 当面の目標のことなので、表現について変更する。

(委員) 治水安全度について、確率年と降雨強度の記載について検討してほしい。また、治水安全度評価時に対象とした日雨量や時間雨量の記載についても検討してほしい。

(事務局) 記載方法について、検討する。

(委員) 近年の雨の傾向では、50mm/hをわずかに上回る雨が頻繁に起こっているため、当面の目標を50mm/hではなく60mm/hとしたほうがいいのではないか。

(委員) 水生生物について、在来種と外来種の科数の合計があわないのではないか。

(事務局) 委員の指摘を踏まえ、資料の修正をする。

(委員) 今回の指摘事項を踏まえ、引き続き審議をつづけることとする。

○一級河川淀川水系猪名川下流ブロック流域の概要について

(まとめ)

一級河川淀川水系猪名川下流ブロックの構成について説明した。今後、「猪名川下流ブロック」「神崎川下流ブロック」の2つに分け、審議を行うものとする。

(委員) 下流部の計画について、大阪府が兵庫県の計画にあわせていかないといけないのか。

(事務局) 今後の協議である。

(委員) 神崎川下流において、現在事業を行っているのか。

(事務局) 流下能力を高めるための河床掘削工事を行っている。

(委員) 今後、ブロックを2つに分け、審議を行うこととする。